

【新規格付け】 阪神高速道路

第2回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
格付け：AAA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

阪神高速道路は道路関係四公団民営化で足した高速道路会社6社の中の1社であり、日本高速道路保有・債務返済機構(機構)と結んだ協定に基づき、阪神高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を手掛けている。阪神都市圏の交通量全体や貨物輸送量に占めるウエートが高く、関西地方の社会経済にとって重要性が非常に高い。2008年度から距離別料金制度を導入する方針。仮に2007年9月に公表した料金案通りに決定した場合、長距離区間の利用者離れが懸念されるが、一方で短距離利用者は増加すると考えられ、大きな減収要因にはならないと見ている。

当該社債は、建設期間中は同社の負債だが、調達された資金で建設された高速道路資産が機構に帰属すると、資産とともに機構に引き継がれる。機構へ債務を引き渡すスキームが確実なうえ、災害の発生や、関連事業の不振で同社自体の経営に問題が生じるなどにより、道路建設に支障を来たしても道路建設債務は機構(間接的には国)によって保護される可能性が極めて高い。このため、当該社債の元利払いの確実性は引き渡し前であっても機構の信用力(発行体格付け=AAA)に帰着すると判断し、機構と同じ格付けにしている。なお、道路特定財源は機構の信用力を支える一つの要素として考えており、暫定税率の見直しなど道路特定財源の見直しが続いている点はチェックポイントである。

関連事業は高架下のスペースを利用した駐車場事業が主体で展開余地は限られており、今のところリスクは限定的である。

【格付け対象】

発行者：阪神高速道路

名称	第2回社債（一般担保付、日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
発行額	100億円
発行日	2008年2月28日
償還日	2013年3月19日
表面利率	1.15%
格付け	AAA（新規）
債務引受の予定先	日本高速道路保有・債務返済機構
担保	一般担保
社債管理者	みずほコーポレート銀行